



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年11月8日

上場会社名 兼松エンジニアリング株式会社
 コード番号 6402 URL <http://www.kanematsu-eng.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 琴一

問合せ先責任者 (役職名) 管理部門執行役員 (氏名) 林 久貴

TEL 088-845-5511

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	6,367	28.6	678	79.4	693	76.8	481	80.2
2019年3月期第2四半期	4,949	9.9	378	35.2	392	34.4	267	34.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	86.57	
2019年3月期第2四半期	48.05	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,669	5,519	51.7
2019年3月期	9,462	5,245	55.4

(参考)自己資本 2020年3月期第2四半期 5,519百万円 2019年3月期 5,245百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		37.00	37.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				37.00	37.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期 期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 特別配当25円00銭

2020年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 特別配当25円00銭

3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,600	0.1	858	0.6	880	1.1	605	0.0	108.84

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期の通期業績予想を据え置きした理由につきましては、添付資料3ページをご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	5,564,000 株	2019年3月期	5,564,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	5,245 株	2019年3月期	5,245 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	5,558,755 株	2019年3月期2Q	5,558,757 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 設備投資に関する説明	P. 3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	P. 7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
3. その他	P. 9
(1) 生産、受注及び販売の状況	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における我が国経済は、米中貿易摩擦や中国経済の減速による輸出の低迷により、生産は弱さが残るものの、個人消費は緩やかな回復が持続し、設備投資も増加基調にあり高水準の企業収益により、景気は緩やかに回復しております。

かかる状況下、当第2四半期累計期間は、一部シャーシモデルチェンジに伴い、8月末が車両登録期限となる現行車の販売や、短期間での納車を希望されるお客様向けの先行製作車の販売が引き続き好調を維持しており、全国的なインフラ整備事業の進展等を背景に、活発な生産活動を行い、前年同四半期比増収・増益の結果となりました。

業績(数値)につきましては、前第2四半期累計期間に比べ受注高は531百万円増の6,091百万円(前年同四半期比9.6%増)、売上高は1,417百万円増の6,367百万円(前年同四半期比28.6%増)となりました。損益につきましては、営業利益は300百万円増の678百万円(前年同四半期比79.4%増)、経常利益は301百万円増の693百万円(前年同四半期比76.8%増)、四半期純利益は214百万円増の481百万円(前年同四半期比80.2%増)を計上することとなりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末残高に比べ1,207百万円増加し、10,669百万円となりました。これは主に、売上債権の減少307百万円及び高知中央産業団地の敷地の一部を協力会社に売却したことに伴う土地の減少172百万円はありましたが、現金及び預金の増加1,368百万円及びたな卸資産の増加267百万円によるものであります。

負債は、前事業年度末残高に比べ933百万円増加し、5,149百万円となりました。これは主に、前受金の減少86百万円、未払消費税等の減少33百万円及び預り金の減少33百万円はありましたが、仕入債務の増加981百万円、未払法人税等の増加99百万円及び引当金の増加40百万円によるものであります。

純資産は、前事業年度末残高に比べ273百万円増加し、5,519百万円となりました。これは主に、剰余金の配当205百万円はありましたが、四半期純利益の計上481百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動の結果得られた資金は、1,448百万円(前年同四半期比143.3%増)となりました。これは主に、たな卸資産の増加267百万円及び法人税等の支払額142百万円はありましたが、仕入債務の増加961百万円、税引前四半期純利益の計上699百万円及び売上債権の減少308百万円によるものであります。

投資活動の結果得られた資金は、121百万円(前年同四半期は使用した資金31百万円)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出53百万円はありましたが、固定資産の売却による収入177百万円によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、前第2四半期累計期間に比べ0百万円増加し、201百万円(前年同四半期比0.0%増)となりました。これは主に、配当金の支払いによるものであります。

従いまして、現金及び現金同等物の当第2四半期会計期間末残高は、前事業年度末残高に比べ1,368百万円増加し、2,244百万円(前期比156.2%増)となりました。

(3) 設備投資に関する説明

当社は2019年5月14日の取締役会で、前事業年度において高知中央産業団地(高知市)に取得した工場等用地について、新工場建設を決議いたしました。新工場において、生産拠点の集約化による生産性の向上と南海トラフ地震対策を図ってまいります。また、新工場建設計画の進展・見直し内容について、2019年10月30日の取締役会で決議をいたしました。詳細は次のとおりであります。

事業所名 (所在地)	設備の内容	投資予定額		資金 調達方法	着手予定 年月	完了予定 年月
		総額 (百万円)	既支払額 (百万円)			
高知中央産業団地工場(仮称) (高知県高知市)	生産設備	4,000	706	自己資金及び 金融機関借入	2020年 1月	2021年 3月

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 2 既支払額の内訳は、主として工場等用地の購入等であります。
 3 新工場建設計画の進展・見直しにより、着手予定年月を2019年10月から2020年1月に、完了予定年月を2020年11月から2021年3月に変更しております。
 4 完成後の生産能力については、現時点で精査中であるため、記載しておりません。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2019年5月14日付の「2019年3月期決算短信(非連結)」にて公表いたしました業績予想を据え置いております。

当第2四半期累計期間においては、現行車の販売が上半期に集中し、当第2四半期会計期間末における受注残高は前事業年度末残高を下回る結果となっております。

第3四半期会計期間以降も活発な受注環境を見込んでおりますが、シャーシの長納期化等により、翌期以降の売上となる案件が重なっております。通期見通しは現時点で流動的であることから、通期業績予想は据え置くことといたしました。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,820,246	3,188,830
受取手形及び売掛金	2,760,633	2,452,971
商品及び製品	324,583	679,406
仕掛品	1,091,516	935,183
原材料及び貯蔵品	229,885	298,800
その他	21,581	32,538
貸倒引当金	△1,380	△1,226
流動資産合計	6,247,066	7,586,504
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	521,756	502,890
土地	2,129,615	1,957,569
その他（純額）	191,026	224,197
有形固定資産合計	2,842,398	2,684,657
無形固定資産		
	20,168	23,230
投資その他の資産		
繰延税金資産	213,040	235,380
その他	140,587	139,889
貸倒引当金	△1,105	△505
投資その他の資産合計	352,523	374,764
固定資産合計	3,215,089	3,082,652
資産合計	9,462,155	10,669,156

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,130,452	4,112,127
未払法人税等	159,087	258,332
賞与引当金	230,470	290,000
役員賞与引当金	46,200	4,735
製品保証引当金	53,000	66,000
その他	378,568	190,597
流動負債合計	3,997,779	4,921,791
固定負債		
退職給付引当金	208,910	218,166
その他	9,470	9,470
固定負債合計	218,380	227,636
負債合計	4,216,159	5,149,428
純資産の部		
株主資本		
資本金	313,700	313,700
資本剰余金	356,021	356,021
利益剰余金	4,578,722	4,854,283
自己株式	△1,879	△1,879
株主資本合計	5,246,564	5,522,125
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△567	△2,397
評価・換算差額等合計	△567	△2,397
純資産合計	5,245,996	5,519,728
負債純資産合計	9,462,155	10,669,156

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	4,949,646	6,367,620
売上原価	3,862,902	4,886,215
売上総利益	1,086,743	1,481,405
販売費及び一般管理費	708,223	802,428
営業利益	378,520	678,976
営業外収益		
受取利息	41	36
受取賃貸料	8,730	9,297
未払配当金除斥益	2,521	3,001
その他	2,658	2,380
営業外収益合計	13,951	14,716
営業外費用		
為替差損	203	—
その他	1	5
営業外費用合計	205	5
経常利益	392,266	693,687
特別利益		
固定資産売却益	608	5,834
特別利益合計	608	5,834
特別損失		
固定資産売却損	48	—
固定資産除却損	0	148
特別損失合計	48	148
税引前四半期純利益	392,826	699,373
法人税、住民税及び事業税	103,903	240,462
法人税等調整額	21,808	△22,324
法人税等合計	125,711	218,138
四半期純利益	267,114	481,235

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	392,826	699,373
減価償却費	63,102	58,062
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△824	△753
賞与引当金の増減額(△は減少)	△50,830	59,530
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△52,115	△41,465
製品保証引当金の増減額(△は減少)	680	13,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,949	9,256
受取利息及び受取配当金	△573	△568
売上債権の増減額(△は増加)	449,678	308,262
たな卸資産の増減額(△は増加)	△73,511	△267,404
仕入債務の増減額(△は減少)	△48,070	961,026
その他	50,535	△207,653
小計	739,846	1,590,664
利息及び配当金の受取額	573	568
法人税等の支払額	△145,012	△142,745
営業活動によるキャッシュ・フロー	595,407	1,448,488
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△31,433	△49,132
有形固定資産の売却による収入	—	177,569
無形固定資産の取得による支出	—	△4,834
その他	388	△1,869
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,044	121,733
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△201,379	△201,467
その他	△3	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△201,382	△201,467
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	362,980	1,368,754
現金及び現金同等物の期首残高	772,740	876,142
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,135,721	2,244,896

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、環境整備機器関連事業並びにこれらの付帯業務の単一事業であるため、セグメントごとに記載しておりません。

当第2四半期累計期間における生産実績、受注実績及び販売実績を製品の品目ごとに示すと、次のとおりであります。

① 生産実績

品目	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
強力吸引作業車	4,397,813	+31.7
高压洗浄車	938,724	△0.9
粉粒体吸引・圧送車	84,795	+22.5
部品売上	439,182	△5.3
その他	301,583	△16.2
合計	6,162,098	+19.0

(注) 1 生産高は、販売価格によるとともに、消費税等は含まれておりません。

2 その他は、上記品目に属さない製品、デモ車の生産等が主なものであります。

② 受注実績

品目	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
強力吸引作業車	4,136,019	+10.4	3,848,172	+2.5
高压洗浄車	913,005	+13.4	812,305	+21.0
粉粒体吸引・圧送車	84,470	△6.1	124,470	△17.8
部品売上	439,182	△5.3	—	—
その他	519,038	+14.0	432,245	+1.2
合計	6,091,715	+9.6	5,217,193	+4.2

(注) 1 受注高及び受注残高は、販売価格によるとともに、消費税等は含まれておりません。

2 その他は、上記品目に属さない製品、デモ車・中古車及び修理改造等の受注が主なものであります。

3 受注残高には、翌事業年度の納入予定金額が含まれております。

③ 販売実績

品目	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
強力吸引作業車	4,656,456	+41.8
高压洗浄車	914,380	+1.4
粉粒体吸引・圧送車	90,440	+138.0
部品売上	439,182	△5.3
その他	267,161	+2.2
合計	6,367,620	+28.6

(注) 1 販売高には、消費税等は含まれておりません。

2 その他は、上記品目に属さない製品、デモ車・中古車の販売及び修理改造等が主なものであります。